

商品名 トラディアンス配合錠AP 医薬品基本情報

薬効	3969 その他の糖尿病用剤	一般名	エンパグリフロジン・リナグリプチン配合剤（1）錠
英名	Tradiance AP	剤型	錠
薬価	235.80	規格	1錠
メーカー	日本ベーリンガーインゲルハイム	毒劇区分	

トラディアンス配合錠APの効能・効果

2型糖尿病

トラディアンス配合錠APの使用制限等

1. 1型糖尿病、高度腎機能障害、透析中の末期腎不全	記載場所	効能・効果
	注意レベル	禁止
2. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重症ケトosis、糖尿病性前昏睡、糖尿病性昏睡、1型糖尿病、重症感染症、重篤な外傷、手術前後、高度腎機能障害、透析中の末期腎不全	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
3. 中等度腎機能障害	記載場所	効能・効果
	注意レベル	注意
4. 腎機能障害、体液量減少を起し易い体質、利尿薬併用、感染症、食事摂取不良、脱水、インスリン分泌能低下、インスリン製剤減量、インスリン製剤中止、過度な糖質摂取制限、尿閉、排尿困難、乏尿、無尿、低血糖又はその恐れ・疑い、脳下垂体機能不全、副腎機能不全、栄養不良状態、飢餓状態、不規則な食事摂取、食事摂取量不足、激しい筋肉運動、過度のアルコール摂取、脱水を起し易い体質、利尿剤併用、血糖コントロールが極めて不良、尿路感染、性器感染、腸閉塞の既往、腹部手術の既往、中等度腎機能障害、高度肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

トラディアンス配合錠APの副作用等

1. 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音異常、捻髪音、間質性肺炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2.	重篤な低血糖、意識消失、低血糖症状、口渇、多尿、頻尿、血圧低下、脱水、脳梗塞、血栓・塞栓症、ケトアシドーシス、糖尿病性ケトアシドーシス、腎盂腎炎、外陰部壊死性筋膜炎、会陰部壊死性筋膜炎、フルニエ壊疽、敗血症、敗血症性ショック、腸閉塞、高度便秘、腹部膨満、持続する腹痛、嘔吐、類天疱瘡、水疱、びらん、急性膵炎、持続的な激しい腹痛	記載場所	重大な副作用
		頻度	頻度不明
3.	低血糖、AST上昇、ALT上昇、肝機能障害	記載場所	重大な副作用
		頻度	5%未満
4.	過敏症、血管浮腫、じん麻疹、気管支収縮、血液濃縮、めまい、味覚異常、鼻咽頭炎、咳嗽、腹部膨満、胃腸炎、口内炎、皮膚そう痒症、尿量増加、排尿困難、陰部そう痒症、空腹感、浮腫、体重増加、糸球体濾過量減少、ヘマトクリット上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
5.	尿路感染、膀胱炎、性器感染、外陰部炎症、外陰部腔カンジダ症、亀頭炎、脂質異常症、体液量減少、便秘、鼓腸、発疹、頻尿、多尿、外陰腔そう痒症、口渇、血中ケトン体陽性、膵酵素増加、血中アミラーゼ増加、血中リパーゼ増加、尿中ケトン体陽性、体重減少、血中クレアチニン上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
6.	血清クレアチニン上昇、eGFR低下	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
7.	悪心、嘔吐、食欲減退、腹痛、過度な口渇、倦怠感、呼吸困難、意識障害	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
8.	継続的にeGFR45mL／min／1.73m ² 未満に低下、尿路感染、性器感染、腎盂腎炎、外陰部壊死性筋膜炎、会陰部壊死性筋膜炎、フルニエ壊疽、敗血症、重篤な感染症、脱水、血圧低下、糖尿病性ケトアシドーシス、高浸透圧高血糖症候群、脳梗塞、血栓・塞栓症、ケトosis、ケトアシドーシス、体重減少、腸閉塞、腎盂拡張、尿管拡張、脱水症状、口渇、体液量減少、腎腫瘍、精巣間細胞腫、腸間膜リンパ節血管腫	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

トラディアンス配合錠APの相互作用

1.	薬剤名等：利尿薬併用	発現事象	脳梗塞、脱水、血栓・塞栓症、高浸透圧高血糖症候群、糖尿病性ケトアシドーシス	投与条件	-
		理由・原因	エンパグリフロジン	指示	注意
2.	薬剤名等：利尿剤併用	発現事象	脱水	投与条件	-
		理由・原因	エンパグリフロジンの利尿作用	指示	注意
3.	薬剤名等：糖尿病用薬				

発現事象	低血糖	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	注意

4. 薬剤名等：血糖降下作用を増強する薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	注意

5. 薬剤名等：リトナビル

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	リナグリプチンの代謝酵素であるCYP3A4阻害及び排泄に関与するP-gp阻害作用	指示	注意

6. 薬剤名等：血糖降下作用を減弱する薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が減弱	指示	注意

7. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	リナグリプチンの代謝酵素であるCYP3A4誘導及び排泄に関与するP-gp誘導	指示	注意

8. 薬剤名等：利尿薬

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	エンバグリフロジン：利尿作用が増強	指示	注意

9. 薬剤名等：リチウム製剤

発現事象	作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	リチウムの腎排泄を促進することにより、血清リチウム濃度が低下	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』